

## 海底火山等の最近の活動について\*

### The Recent Activity of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁水路部

Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

前回（第75回）に報告した以後（1997年5月21日から1997年10月9日）の活動状況は、以下のとおりである。（第1図）。

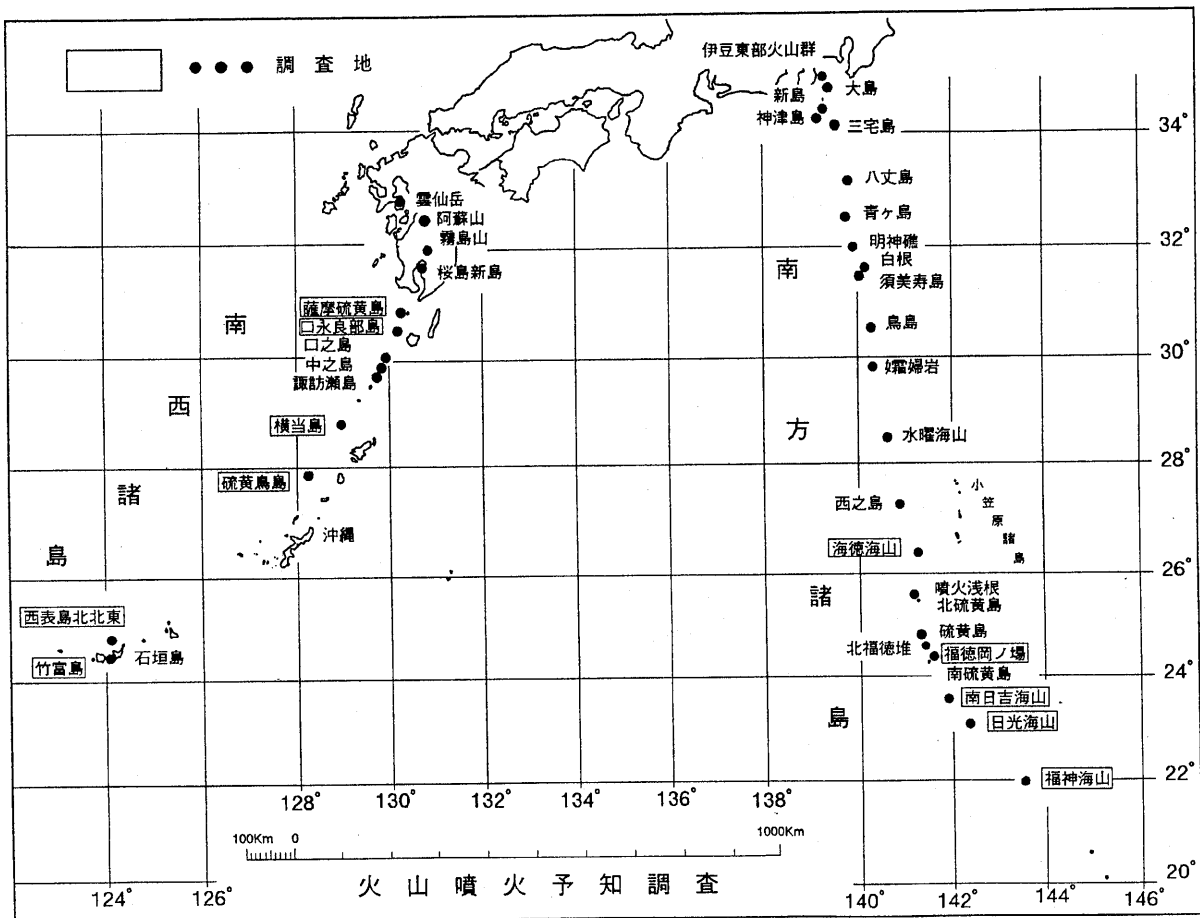
#### 1. 南方諸島方面

場 所	年 月 日	調査機関等	活 動 状 況
海 徳 海 山	1997 6 9	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	7 28	同	〃
	9 4	同	〃
	10 9	同	〃
福 徳 岡 ノ 場	1997 6 9	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	7 28	同	水色の変色水を認めた。海底が透けてみえているようで、時間が経過しても変色水の形状に変化はなかった。
	9 4	同	変色水等の異常は認められなかった。
	10 9	同	半径約500mのうすい黄緑色の変色水を認めた。
南 日 吉 海 山	1997 6 9	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	7 28	同	〃
	9 4	同	〃
	10 9	同	〃
日 光 海 山	1997 6 9	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	7 28	同	〃
	9 4	同	〃
	10 9	同	〃
福 神 海 山	1997 6 9	海上自衛隊	変色水等の異常は認められなかった。
	7 28	同	〃
	9 4	同	〃
	10 9	同	〃

\* Received 15 Dec., 1997

2. 南西諸島方面

場所	年月日	調査機関等	活動状況
薩摩硫黄島	1997 8 18 19 20	海上保安庁	火口付近は雲のため視認できなかった。島の海岸線の南東側半分（永良部崎～枕鼻）には、赤褐色及び黄褐色変色水が認められた。特に硫黄島港内、東温泉及び枕鼻東岸には、濃い変色水が認められた。また、昭和硫黄島の周辺には薄い黄緑色の変色水が認められた。
		同	
		同	
口永良部島	1997 8 18 19	海上保安庁	新岳火口に少量の白色噴気が認められた。亀ヶ浦と長瀬の間に薄い緑色変色水、口永良部港に薄い黄緑色変色水、ニシマザキに黄緑色変色水が、古岳の南岸に薄い茶褐色変色水（一部濃い）がそれぞれ認められた
		同	
横当島	1997 8 19 20	海上保安庁	島の周囲は西岸を除き、薄い緑色変色水が認められた。特に島のくびれた部分の南側にやや濃い黄褐色変色水が認められた。
		同	
硫黄島島	1997 8 19 20	海上保安庁	新火口の北西の海岸に薄い黄褐色変色水、南西の海岸に茶褐色変色水、その南側の海岸に薄い黄緑色変色水が認められた。
		同	
西表島北北東 海域及び西表島	1997 8 19	海上保安庁	北緯24度50.0分、東経124度06.7分を中心に半径3マイルの海域（1924年に海底火山の噴火が起こったと推定される海域）に変色水等の異常は認められなかった。
竹富島	1997 8 19	海上保安庁	変色水等の異常は認められなかった。



第1図 火山噴火予知調査位置図

Fig.1 Index map of submarine volcanoes and volcanic islands.